

入試年度	2022年度	入試時期	I期入学試験	実施日	2021年9月15日
課程	博士前期課程	研究科	経営学研究科	専攻・コース	経営学専攻
入試方式	一般入学試験 外国人留学生入学試験	試験科目	専門科目（経済学）		

解答又は解答例及び出題意図

【解答例（採点時の観点）】

問1

- (1) 独占的競争市場の定義、同市場における企業の参入・退出の条件、同市場における長期均衡について、標準的なミクロ経済学に基づく正確な理解を示し、かつ、論理的に詳述できたものを正答とする。
- (2) 政府支出の拡大および減税を行うことによる一国経済への影響、同政策による有効需要創出の効果について、標準的なマクロ経済学に基づく正確な理解を示し、かつ、論理的に詳述できたものを正答とする。

問2

- (1) 代替効果、所得効果の定義を正確に詳述できたものを正答とする。
- (2) シグナリング、スクリーニングの定義を正確に詳述できたものを正答とする。
- (3) マネタリーベース、マネーストックの定義を正確に詳述できたものを正答とする。
- (4) 国際収支、対外資産負債残高の定義を正確に詳述できたものを正答とする。

【出題の意図】

学士水準に相当する経済学の基礎知識および研究能力を記述式筆記試験により評価するため、標準的なミクロ経済学およびマクロ経済学の主要テーマからバランス良く出題することを意図している。ミクロ経済学については、問1(1)で企業行動、問2(1)で消費者行動、問2(2)で応用分野（情報の経済学）からの出題としている。マクロ経済学については、問1(2)で財政政策、問2(3)で金融政策、問2(4)で国際経済からの出題としている。問1は2問のうち1問、問2は4問のうち2問を選択して解答する形式としている。

合否判定の方法及び基準

入学試験は、経営学研究科のアドミッション・ポリシーに基づき、これを満たす学生を募集することを目的に実施している。

合否判定については、本研究科のアドミッション・ポリシーを満たしているかを総合的な視点により判断している。